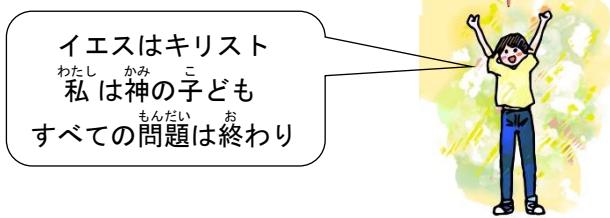


じょろん みらい じゅんび
序論：未来の準備

こんげつ じょろん みらい じゅんび
今月のレムナントデイのメッセージの序論で、「未来の準備」というみことばがありました。それに合わせて
もくそう わ あ
默想したことを分かち合います。

ピリピ 1:6

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は強く信じているのです。



この告白が事実として信じられますか。

これが信じられる信仰も私たちから出たのではなく、神様からもらったのです。その信仰の中にある私とみなさんは、天の御國の民です。私たちは、目に見えないのですが、完成した神の国を相続した者です。

ヘブル 11:1

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

いま、肉体の目には見えないのですが、信仰の目で私たちは天国を見ているのです。



ピリピ 3:20

けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

天国で救い主イエス・キリストが永遠の支配者として治められることを、この地を生きながら、しばらくの間、私たちは待っているのです。

それでは、みなさんが知りたい未来はどんなものになるべきでしょうか。

また、未来のために、みなさんができる準備はどんなものなのでしょうか。

みなさんは、ほんとうに神の国について知りたいですか。

それとも、この世（地）での、みなさんの姿を知りたいのでしょうか。この世での、未来の自分の姿が気になるのは、未来に対する不安とおそれがあるからで、それは、神様を信じないことだともいえるでしょう。

私たちが未来のために本当に準備すべきことがあるとしたら、

それは「イエス・キリストの福音を日々深く知ること」です。

神様の喜びのみこころに従って、私たちを救うために、十字架を忍び、従順の道を一步一步進み、いまは神様の御座の右に座っておられるイエス・キリストが、聖靈として私とともにおられます。そして、再び、神様のみこころに従わせて完成した未来に向かって、私たちとともに一歩一歩歩んでくださっているのです。



そのことが、ヘブル 12:1-3 に書いてあります。

ヘブル 12:1-3

- 1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。
- 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。
- 3 あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわぬためです。

雲のようにいろいろな証人がいますが、私たちは、ただイエス・キリスト、私のために十字架を負って死なれ復活された、そのイエスだけから目を離さないでいなさいというみことばです。

そして、私たちの中で、私のために祈り、みことばを教えてくださっている聖靈によって、信仰の目で天の御国を見て生きるのであります。

【ペテロ 1:8

あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、榮えに満ちた喜びにおどっています。



肉体の目には見えないのですが、信仰の目で神様（主）を見て、主を愛して喜んでおどっているのです。これが私たちの毎日の生活になるべきです。これが、私たちが未来のためにいま準備すべき心、姿です。

このために与えられた今日という24時を、だからこそ、最善を尽くして生きましょう。レムナントたちは、学業（勉強）、働き人は産業（仕事）、いろいろな出会い、すべてを伝道と宣教のためのスケジュールだと考えて祈りましょう。その中にある神様のみこころを求めて、毎週、講壇を通して、毎日祈りの手帳を通してくださっているみことばを深く黙想しましょう。未来を変えるための準備過程としての3つの今日ではなく、完成した未来を今日ながめて味わうための3つの今日です。みなさんが、3つの今日をがんばって、いっしょにけんめいすることによって、それが重なってみなさんの未来が変わるものではありません。すでに完成された未来を、今日、味わうための3つの今日です。

天と地、宇宙万物をことばで造られた全能の神様が、私たちの父です。その神様がいまも創造の時と同じ力と権威を持って定められ、計画されたみこころを、一つもまちがいなく成就しておられます。その神様の子どもになった私たちに、神様は237、5000種族を生かす信仰と実力を備えた器になることを求めておられるのではなく、Nobody, Nothing の絶対不可能な私に、絶対可能の神様が御座の力と、神の国の祝福でともにおられ、神の国の働きができる器にしてくださったのです。

このメッセージを準備しながら思ったことがあります。

この歴史と人生は1000ピースのジグソーパズルだと思いました。

年末に300ピースのパズルを買いましたが（まだ始めていないのですが・・・）

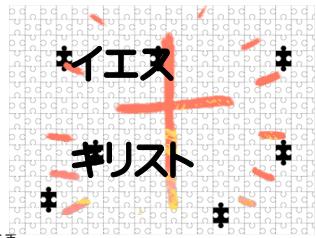
1000ピースはとてもむずかしいでしょう。ピースは、それぞれの形も色もちがいます。それを完成するのに、長い時間と努力が必要です。

いま歴史と人生のジグソーパズルのピースを合わせておられるのは、私ではなく神様です。そして、すべてがはめられたときに現れる主人公は「イエス・キリスト」です。ただ私たちは、そのパズルを構成する、小さなひとつのピースにすぎません。だからといって、重要ではないピースは、ひとつもありません。それにもかかわらず、私たちは「なぜ私は、イエス様の絵の部分ではなく、ただの背景なのか」「なぜ私のピースのかたちは、おかしくて、色はこんなに暗いのか」など・・・と言っているのではないでしょうか。ただイエス・キリストが、さらに明らかに現れて輝くことに用いられただけで、それを通して神様の栄光が現れることに用いられただけで、私たちは感謝すべきでしょう。

私とみなさんの人生の始まりから終わりまで、神様の御手にあります。

未来の準備は、今日、与えられた24時を「ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊の満たし」の祈りの中で、霊的な目に見える天の御国を見上げ、それを味わう一日を過ごすことです。

(つづ
(続いて1課は次のページです)



第1課 世の中は知らない絶対問題（使16:16-18）

使徒16:16-18

16 私たちが祈り場に行く途中、占いの靈につかれた若い女奴隸に出会った。この女は占いをして、主人たちに多くの利益を得させている者であった。

17 彼女はパウロと私たちのあとについて来て、「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、②救いの道をあなたがたに③宣べ伝えている人たちです」と叫び続けた。

18 幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその靈に、「①イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け」と言った。すると即座に、靈は出て行った。

この聖句の中に、占いの靈につかれた女奴隸が出て来ます。実は、私たちがこのような状態にいました。アダム以来、すべての人は罪人となり、罪から来る報酬として死の中に陥ってしまいました。そのはじめりが、創世記3章の善惡の知識の木の実の事件です。サタンにだまされて、神様のみことばに不従順になって、神様のようになって善惡の判断の主体者となって生きようとした事件です。

その善惡の知識の木の実の事件は、こんにちも続いています。それがサタンが植えた「落とし穴、棒、わな」です。つまり、創世記3章の自己中心（落とし穴）、6章の物質中心（棒）、11章の成功中心（わな）です。私たちは、イエス・キリストの十字架の恵みとあわれにみよって、滅亡の運命から永遠のいのちに移りました。いまも、私たちのまわりには、自分の意志や願いと関係なく、サタンの「落とし穴、棒、わな」にとらわれている人がたくさんいます。



その中で、私たちは先に救われた証人です。つまり、靈的サミットとして私たちを立ててくださったのです。

使16:16-18の聖書箇所の中には、どんな人が靈的サミットなのかが明らかにされています。

どんな状況の中でも、だれに出会っても「①イエス・キリストの御名によって」「②救いの道を」「③宣べ伝えている人」これが、靈的サミットです。

「イエス・キリストの御名によって、救いの道（ただイエス・キリストが救い主であること）を宣べ伝える人」



これを確信を持って伝える人です。

私たちは、すでに靈的サミットとして、いま私たちが住んでいる地域や家庭、教会に神様が立ててくださいました。それを信じて、技能サミット、文化サミットとして用いられるようにお祈りします。